



KYUSHU UNIVERSITY OF
NURSING AND SOCIAL WELFARE
2026
OPEN CAMPUS

K N S

ミニ

九看大のオープンキャンパスに行こう！

OPEN CAMPUS

看護学科 / 社会福祉学科 / リハビリテーション学科 / 鍼灸スポーツ学科 / 口腔保健学科

ミニオープンキャンパス

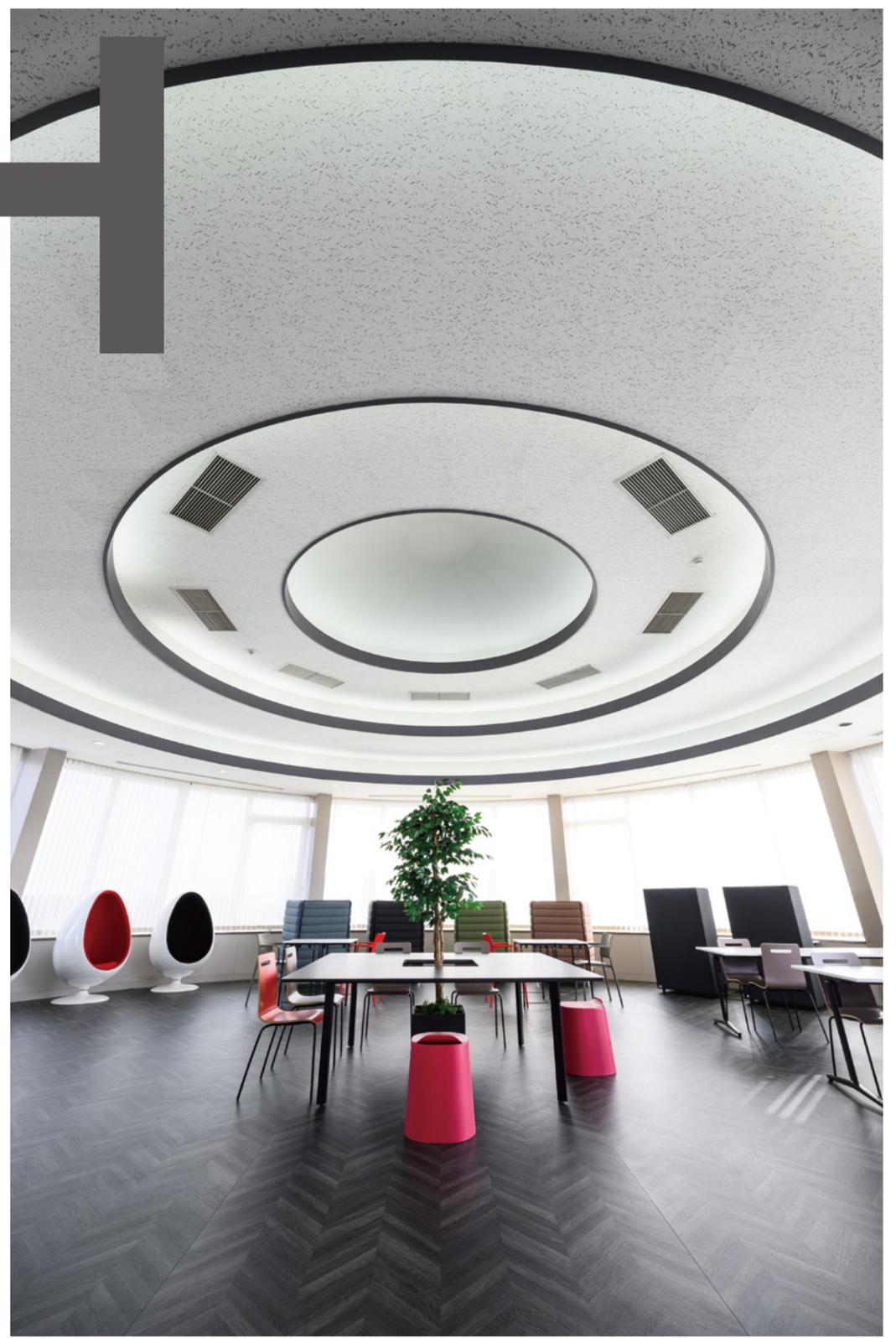
3.20 **FRI**
10:00-13:00

Campus life!
キャンパスを体験しよう！
学科体験コーナー / 施設見学 / 個別相談
etc
リアルな大学の雰囲気を体験してください！
来場者特典もご用意してお待ちしています！
保護者の方々のご来場も大歓迎です！



BH

九看大の『今』を伝えるキャンパスライフマガジン



「駅のにぎわいづくり」パートナー校認定

九州旅客鉄道株式会社(JR九州)熊本支社より、「駅のにぎわいづくり」パートナー校第16号として認定をいただき、2月20日(金)に認定証授与式が行われました。

今回の認定は、社会福祉学科「基礎演習」において、玉名地区の活性化を目的に地域の各種イベントへ継続的にボランティア参加してきたこれまでの取組が高く評価されたものです。学生たちは、地域住民や関係団体の皆さまと連携しながら、地域課題に向き合い、主体的に活動を展開してまいりました。今後は、社会福祉学科の学生による主体的な活動をさらに発展させ、駅を拠点とした新たなにぎわいの創出を目指します。



第28回優愛祭

10月18日(土)に第28回優愛祭を開催いたしました。当日はあいにくの天気となりましたが、学生・卒業生をはじめ、地域の皆さまなど多くの方々にご来場いただきました。

模擬店では、部・サークル、学生有志および教職員による出店に加え、キッチンカーの皆さまにもご協力いただき、バラエティ豊かなメニューがそろえられました。

また、ステージイベントでは、「タマナ歌謡祭」や「利き〇〇」など、実行委員と来場者が一体となって盛り上がり、体育館や食堂棟でもさまざまな企画が実施され、学内全体が活気に包まれました。

さらに、「芸能人トークショー」や「お笑いLIVE」も開催され、会場は笑顔と歓声に満ち、参加された皆さまにとって思い出深いひとときとなったのではないのでしょうか。

フィナーレでは、花火とレーザーショーが夜空を彩り、優愛祭の締めくりにふさわしい感動的な瞬間となりました。

開催にあたり、ご協力いただきました地域の皆さまおよび関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

「世界エイズデー」啓発活動

12月1日は、WHOが定めるエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的とした「世界エイズデー」です。

本学では看護学科の学生が有明保健所と協働して、性感染症に関するポスターを作成し、手作りパンフレットを学内で配布しました。この啓発活動で1人でも多くの人に、正しい知識を身につけてほしいと願っています。



金栗四三翁マラソン大会サポート

11月2日(日)にスポーツサポートチームIrisの学生4名が、和水町で行われた金栗四三翁マラソン大会にケアブースを設け、レース後のリラクゼーションなどのスポーツケアサポートを行いました。

ケアブースには、約60名のランナーの方々にお越しいただきました。利用者からは「出走前にテーピングしてもらって助かる」、「走ってきてきつかったけれど、ケアしてもらって安心して帰れる」といった感謝の言葉をいただき、実りの多いサポート活動となりました。

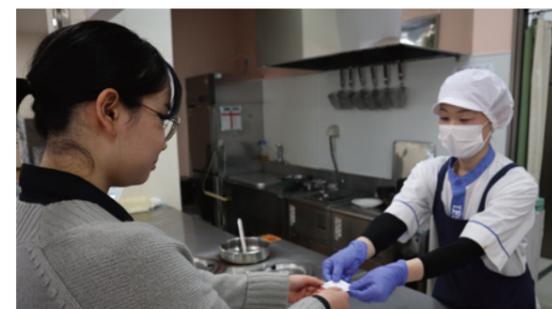


物価高に対する食の支援事業

すべての学生に対し、物価高騰の影響を受ける学生の食費支援を目的とし、「物価高に対する食の支援事業」を実施しました。

本事業では、日本学生支援機構からの助成と本学からの学生生活支援とあわせて、食堂で利用可能な無料ランチ券3枚(1,200円分)を支給しました。

多くの学生がランチ券を利用し、「物価高で困っていたので嬉しい」などのコメントが寄せられました。



中庭(こころにわ)イルミネーション点灯

同窓会の支援による恒例の中庭イルミネーションが実施され、鮮やかなイルミネーションが12月初旬から1月下旬までキャンパスを彩りました。

初日の夕方には点灯開始イベントが開催され、多くの学生が集まりました。吹奏楽部による演奏とカウントダウンの後にイルミネーションが点灯されると、参加者からは歓声があがりました。

このイルミネーションが学生の皆さんにとって、夢実現の「希望の光」となるよう心より願っています。



LABORATORY REPORT

研究紹介 Vol.03

リハビリテーション学科

吉里 雄伸 専任講師

PROFILE

略歴 / 本学看護福祉学部リハビリテーション学科卒業、同大学院看護福祉学研究科修士課程を修了。
九州工業大学生命体工学研究科博士後期課程を修了。
医療法人社団慶仁会川崎病院を経て、現在本学看護福祉学部リハビリテーション学科専任講師。



LABORATORY REPORT

研究紹介 Vol.04

鍼灸スポーツ学科

塚本 紀之 教授

PROFILE

略歴 / 明治鍼灸大学鍼灸学部卒業、同大学院鍼灸学研究科修士課程を修了。
京都大学大学院医学研究科博士課程を修了。
現在本学看護福祉学部鍼灸スポーツ学科 / 大学院看護福祉学研究科健康支援科学専攻教授(研究指導教員)。



【研究テーマ】

■ 子どもの運動発達・運動能力と運動器障害について

小児の運動能力や運動発達、また運動器障害をテーマに研究を行っています。現在は大きく2つの課題について研究を進めています。

1つ目は、幼児・児童の運動能力および基本的動作の発達段階の調査を実施しています。近年の幼児・児童の運動能力を量的面と質的面に着目し、その水準と関連する因子について分析を行っています。2つ目は、近隣の小・中学校において、前・後屈時腰痛の保有率の調査や、それらに関連する因子の分析を行っています。



幼児・児童の運動能力の向上と、健康で健全な成長をめざしています

左記の研究課題にもとづいて、調査結果を幼児・児童・生徒が所属する施設や市の行政に報告し、それによって現状を伝え、運動能力向上や腰痛予防への取り組みを促す啓発を行っています。

1つ目の研究について、体力の低下に関連する因子の分析が少しずつ進んできており、今後は実際に介入を進めていく予定です。

2つ目の研究について、現在1つの小学校で研究結果をもとに予防の取り組みを実施しています。その結果、前・後屈時腰痛の保有者は減少がみられており、今後介入範囲の拡大を考えています。

これらの取り組みにより、幼児や児童の運動能力の量的・質的な向上と、児童・生徒の健康で健全な成長に寄与したいと考えています。

子どもの健康増進における、理学療法士の可能性を広く伝えていきます

近年の子どもたちは、生活習慣や環境の変化に伴い、運動能力の低下や運動器疾患の増加といった課題に直面しています。こうしたなか、医学的知識を持ち、動作分析及指導のスペシャリストである理学療法士への期待は、かつてないほど高まっています。私は、理学療法士こそがこれらの課題解決の中核となって貢献できる職種であると確信しています。教育者・研究者として、子どもの健康増進における理学療法士の新たな可能性と役割を広く社会に発信していきたいと考えています。

【研究テーマ】

■ 鍼灸による生体防御系の調節、鍼灸と各種療法の相乗効果、鍼灸による生活習慣病予防

近年、鍼灸などの東洋医学については、科学の発展を背景に新たな視点から解明が進んでいます。人間の体にはもともと恒常性維持機構が備わっています。別名ホメオスタシスとも呼ばれており、人体が体温、血圧、免疫系などを一定の範囲に保とうとする機能です。病気になると自らの治癒力で対処しますが、その働きを最大限に引き出すのが鍼灸なのです。予防医学(未病)としての鍼灸医学を研究し、患者さまが安心して鍼灸治療を受けられるよう、安全管理教育にも取り組んでいます。



「火を使わない」新しい灸(OQUA)

鍼灸の手軽なセルフケアをお手伝い、新しい灸の開発にも協力しました

心身ともに自立して健康的に生活できる期間を健康寿命といいますが、鍼灸はその延伸に貢献します。健康寿命を延ばすためには、バランスの取れた食事、禁煙、節度ある飲酒など、生活習慣の改善が欠かせません。そこに鍼灸を取り入れることで、内臓・消化器を整えて栄養の摂取をサポートする、身体の疲れを癒やして適切な運動を可能にする、睡眠の時間と質を整えて休養を促すなどの効能が期待されます。

鍼灸師による治療に加えて、日頃から自らの手でセルフケアを行うことも効果的です。公開講座では、自分で簡単にできる効果的なツボの押し方を伝授するなど、予防医学の啓発も行っています。また、研究活動の一環として、灸の効果を活かしつつ従来のデメリットを解消した「火を使わない」新しい灸(OQUA)の開発にも協力しました。一般販売されている一方で、玉名市のふるさと納税の返礼品としても採択されており、「大学の知」が地域貢献に寄与しています。

鍼灸は心身のバランスを整えて、私たちが本来持っている力を回復します

東洋医学では、病気になる前の段階で心身の異常を察知し、病気になることを防ぎ、軽症のうちに治すことを大切にします。自分が本来持っている力を回復し、心身のバランスを整える。そこに鍼灸がいかに関わるかを究明し、社会に役立てることが私たちの使命であると考えています。

糖尿病や高血圧などの生活習慣病の予防や、より健康的な寿命の延伸に貢献できるよう、今後も教育・研究を進めてまいります。鍼灸による病気の予防と健康増進に向けて、これからも鍼灸の普及に努めてまいります。

クラブ・サークル紹介 >>

RCYサークル



年2回の学内献血を盛り上げるため、他学科のメンバーとともに活動

高校時代から献血活動に興味があり、皆さんにも知ってもらいたい、そう思い入部し、現在は部長を務めています。学内献血の際は、事前に呼びかけを行い、多くの方に参加してもらえるよう準備を進め、当日は日本赤十字社のスタッフのお手伝いをします。ご協力くださる方が増えると、サークルの仲間と大いに喜び、やりがいを感じます。学内献血は年2回の実施に加えて、献血に関するセミナーの企画・運営にも取り組んでいます。サークルとしてのやりがいを感じながらも、アルバイトや学業との両立もしやすい環境です。また、メンバーには他学科の学生もいますので、交流の輪も広がります。これからの目標は、献血のことを知ってもらい、協力してくださる方を増やすことです。サークルの先輩は優しい方ばかりです。私たちとともに活動しませんか。皆さんの入部をお待ちしています。

活動人数	9名
活動場所	食堂棟3階
活動日	学内献血（年に2回） 献血セミナー



看護学科2年
大園 みさき さん
宮崎県/都城西高等学校出身

クラブ・サークル紹介 >>

フットサル部



フットサルも勉強も、先輩の温かいアドバイスで充実

新しいことに挑戦したい、同じ趣味を持つ友人をつくり、仲間を広げたい、そう思ってフットサル部に入りました。日々の練習は学年を問わずチームを組み、試合を行っています。私のポジションはフォワードです。試合中はもちろん、普段の練習でも、今までできなかったプレーが成功したときにはやりがいを感じます。この部に入って良かったと感じるのは、先輩方が優しく、フットサルだけでなく勉強のこともアドバイスしてくれるところです。フットサル部のおかげで、充実した学生生活を送っています。今後の目標は、1部リーグに上がること！新しいことにチャレンジしたい、全力で何かに取り組みたい、そう思っている人にはびったりの部です。ぜひ、一緒にフットサルを楽しみましょう。

活動人数	33名
活動場所	体育館
活動日	毎週水曜日 18時



リハビリテーション学科1年
田村 祐人 さん
熊本県/八代清流高等学校出身

